



2023年12月期第1四半期 決算補足説明資料

日華化学株式会社

(東証プライム：4463)

2023年4月28日

1

総括・サマリー

## 総括（2023年12月期 第1四半期）

### 総括

- ・ 当第1四半期は減収減益であったが、外部要因ならびに化粧品の広告宣伝費用増加によるものである。
- ・ 外部要因として影響が大きかった中国や東南アジアの状況は**回復中**である。
- ・ 化学品事業のEHDシフトは推進中であり、**EHD製品の需要は増加傾向で利益率のアップが期待できる**。
- ・ 化粧品事業において強力に推進中の新製品プロモーション（メディア露出、SNSなどを活用したデジタルプロモーション）は奏功しており、**第2四半期以降の収益貢献が期待できる**。
- ・ 上記の理由から、第2四半期以降の収益回復が見込まれており、**通期業績は当初の想定通りの予定**である。（参照P13：業績予想）

# サマリー

## 1 全社：減収・減益。通期予想は変更なし。 第2四半期から外部環境は改善見込み。

売上高：11,520百万円（△4.2%）、営業利益：179百万円（△75.4%）  
経常利益：281百万円（△69.0%）、四半期純利益：27百万円（△94.7%）

## 2 化学品事業：減収・減益

売上高：8,310百万円（△6.2%）、セグメント利益：237百万円（△62.3%）

【売上高】（-）欧米アパレル在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減

【利益】（-）売上減による利益減、原材料高（対策）販売拡大や価格改定

為替：期中平均 円/米ドル133.26円13.8%円安、  
中国元4.9%円安、ウォン7.2%円安  
国産ナフサ：1Q予想66,000円（前年同期比+2.2%）

## 3 化粧品事業：増収・減益

売上高：3,076百万円（+5.6%）、セグメント利益：386百万円（△22.6%）

【売上高】（+）デミコスメティクス・フローディア堅調  
（+）山田製薬のODM事業好調  
（+）デミコリア好調

【利益】（-）戦略的プロモーション投資等で販管費増

## 4 四半期純利益：減益

親会社株主に帰属する四半期純利益（△94.7%）

【要因：利益】（-）特別利益：1.4億円減

2

## 決算概要 (全社)

## 決算概要（全社）

**減収・減益。通期予想は変更なし。  
第2四半期から外部環境は改善見込み。**

単位：百万円	2022年12月期 第1四半期	2023年12月期 第1四半期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	12,022	<b>11,520</b>	△501	△4.2%
営業利益	729	<b>179</b>	△550	△75.4%
（営業利益率）	（6.1%）	（1.6%）		
経常利益	905	<b>281</b>	△624	△69.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	520	<b>27</b>	△492	△94.7%
ROA	5.3%	1.3%		△4.0p
ROE	8.1%	0.4%		△7.7p
EBITDA	1,308	730	△578	
減価償却費	578	550	△27	
年間配当（円）	30	32		

### ポイント

#### 【売上高：減少】

- （－）化学品：欧米アパレル在庫調整並びに  
コロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減
- （＋）化粧品：山田製薬、デミコリア好調

#### 【利益：減少】

- （－）化粧品：戦略的プロモーション投資等で販管費増
- （－）原材料高止まり、ユーティリティコスト上昇

為替：期中平均 円／米ドル133.26円13.8%円安、中国元4.9%円安、ウォン7.2%円安  
 国産ナフサ：1Q予想66,000円（前年同期比＋2.2%）

2

決算概要  
(セグメント別)

# セグメント

## 「化学品」と「化粧品」の2つの事業領域

### 化学品事業

創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用、2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開

繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル  
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル  
(先端材料)



#### 主要な関係会社

- ・大智化学産業株式会社（半導体産業向け）
- ・日華化学（中国）有限公司
- ・NICCA KOREA CO., LTD.
- 他13社

### 化粧品事業

「主力ブランド「DEMI」を中心としたプロフェッショナル向け美容室専売品 お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさをテーマに研究開発」

ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング



#### 主要な関係会社

- ・山田製薬株式会社（化粧品OEM/ODM）
- ・イーラル株式会社
- ・DEMI KOREA CO., LTD.
- 他4社

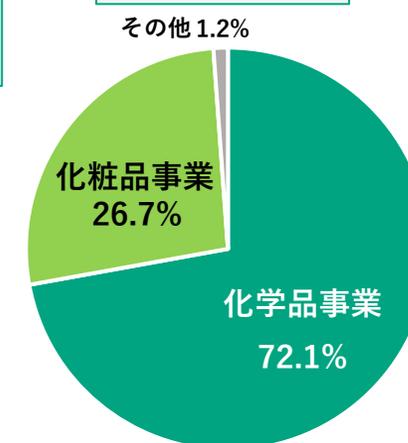
# セグメント別業績

**化学品事業：減収減益**（主力の繊維化学品分野における、欧米アパレル在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減）

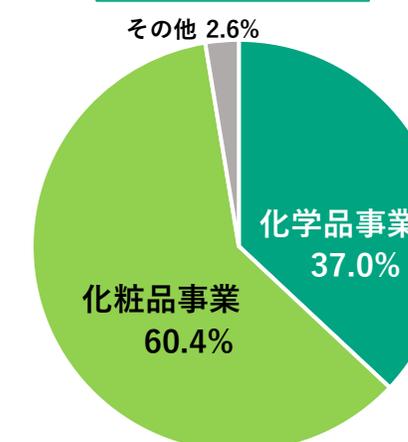
**化粧品事業：増収減益**（山田製薬、デミコリア好調の反面、戦略的プロモーション投資等で販管費増）

売上高：化学品事業が約7割  
利益：化粧品事業が約6割強

売上高



セグメント利益



単位：百万円		2022年12月期 第1四半期		2023年12月期 第1四半期		前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	化学品事業	8,857	73.7%	8,310	72.1%	△547	△6.2%
	化粧品事業	2,913	24.2%	3,076	26.7%	163	5.6%
	その他	251	2.1%	133	1.2%	△118	△46.9%
	合計	12,022	100%	11,520	100%	△501	△4.2%
セグメント利益	化学品事業	629	55.0%	237	37.0%	△392	△62.3%
	化粧品事業	499	43.6%	386	60.4%	△112	△22.6%
	その他	15	1.4%	16	2.6%	0	4.6%
	合計（消去前）		100%		100%		
	消去等	△414		△460			
合計	729		179		△550	△75.4%	

# セグメント別（化学品事業）

## 減収・減益

単位：百万円

化学品事業	2022年12月期 第1四半期	2023年12月期 第1四半期	前期比	前期比
			増減額	増減率
売上高	8,857	8,310	△547	△6.2%
セグメント利益	629	237	△392	△62.3%

為替：期中平均 円/米ドル133.26円13.8%円安、  
中国元4.9%円安、ウォン7.2%円安  
国産ナフサ：1Q予想66,000円（前年同期比+2.2%）

### ポイント

#### 【売上高】

(-) 欧米アパレル在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減  
(海外繊維化学品分野)

#### 【利益】

(-) 売上減による利益減 (対策) 販売拡大や価格改定

### 分野別

#### EHD<sup>1</sup>関連

- 【+販売堅調】特殊樹脂モノマー、フッ素化成品
- 【+新規販売】自動車向け合皮用トップコート剤

#### 繊維化学品分野

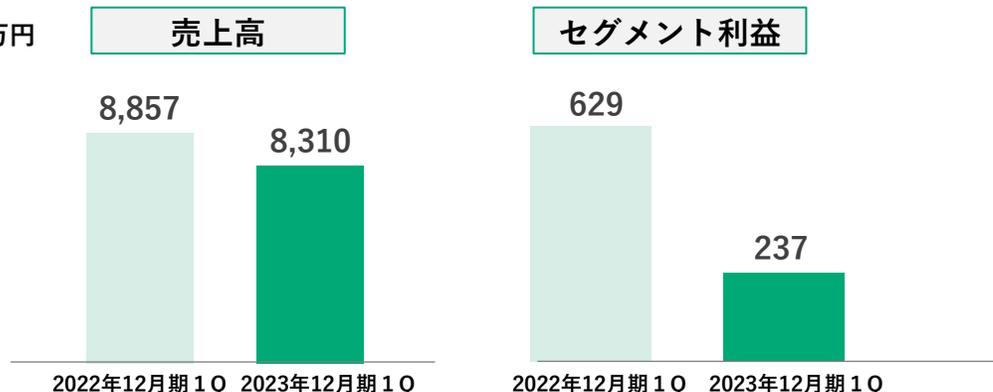
- 【-需要減】
  - ・世界各地域で繊維加工大幅減：欧米アパレル在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響
  - ・中国他一部地域で回復傾向

#### 国内

- 【+回復大】  
全国旅行支援&インバウンド回復による  
リネンサプライ用薬剤販売増

<sup>1</sup>EHD：Environment、Health、Digital

単位：百万円



# セグメント別（化粧品事業）

## 増収・減益

単位：百万円

化粧品事業	2022年12月期 第1四半期	2023年12月期 第1四半期	前期比	前期比
			増減額	増減率
売上高	2,913	3,076	163	5.6%
セグメント利益	499	386	△112	△22.6

為替：期中平均 円/米ドル133.26円13.8%円安、  
中国元4.9%円安、ウォン7.2%円安  
国産ナフサ：1Q予想66,000円（前年同期比+2.2%）

### ポイント

#### 【売上高】

- (+) デミコスメティクス・フローディア堅調
- (+) 山田製薬ODM事業好調
- (+) デミコリア好調

#### 【利益】

- (-) 戦略的プロモーション投資等で販管費増

### 分野別

日華化学：売上高堅調も販管費増

- ・美容室来店客数は引き続き低迷している中、フローディア堅調
- ・2Q発売の新商品拡販に向けての戦略的プロモーション投資等で  
広告宣伝費他増

山田製薬：好調/増収増益

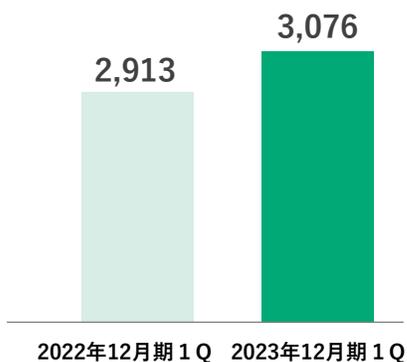
- ・ヘアケア受託事業好調

デミコリア：好調/増収増益

- ・美容室来店客数は引き続き低迷している中、ヘアケア、カラー好調

単位：百万円

### 売上高



### セグメント利益



7

業績・配当予想他  
(2023年12月期)

# 業績予想（2023年12月期） 全社

(予想)  
**増収・増益** (営業利益)  
**増配**

単位：百万円	2022年12月期 実績	2023年12月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	50,627	52,000	+1,372	+2.7%
営業利益 (営業利益率)	2,628 5.2%	2,700 5.2%	+71	+2.7%
経常利益	3,132	2,800	△332	△10.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,114	1,700	△414	△19.6%
年間配当(円)	30	中間：16円 期末：16円 32	2	—

• 為替／132円（円／米ドル、2022年12月期末値） ナフサ／72,500円 設備投資予定額(2023/12期)：2,300百万円

# 業績予想（2023年12月期）セグメント別

(予想)

**化学品事業**：増収・増益  
**化粧品事業**：増収・利益横ばい

単位：百万円

セグメント	2022年12月期 実績		2023年12月期 予想		前期比		前期比	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	増減率	セグメント利益	増減率
化学品事業	36,268	1,861	37,000	2,000	+731	+2.0%	+138	+7.5%
化粧品事業	13,265	2,438	14,000	2,400	+734	+5.5%	△ 38	△1.6%
その他	1,093	129	1,000	100	△ 93	△8.6%	△ 29	△23.0%
消去等	-	△ 1,800	-	△ 1,800	-	-	-	-
合計	50,627	2,628	52,000	2,700	+1,372	+2.7%	+72	+2.7%

# 施策（2023年12月期）

## メリハリのある投資と高利益率の化粧品への注力

	施策	進捗状況
化学品事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利益率のアップ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>-高利益率のEHD領域製品の販売比率を高める（=EHDシフト）</li> <li>-業務の効率化（営業・研究・生産・バックオフィス等全職種）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EHD需要増に対する販売戦略推進中</li> <li>・ フッ素フリー撥水剤、環境対応工程薬剤販売拡大</li> <li>・ 研究基幹システム、データ分析システム等、着実に運用開始・定着化</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外でのEHD製品の拡販</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車向け合皮用トップコート剤新規販売開始</li> </ul>
化粧品事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型新ブランド「DEMI DO（デミドゥ）」新発売（4月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定通り4/12より出荷開始</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹ヘアカラーブランドのフルリニューアル「トイロクシオン」（6月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6/8発売に向けて予定通りの進捗 芸人のZAZY氏起用サロン向けサンプル広告で業界の話題</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告メディアへの露出、SNSなどを活用したデジタルプロモーションの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/13～23 渋谷駅、仙台駅、名古屋駅、大阪梅田駅、博多駅で大規模交通広告掲出</li> <li>・ 4/24～ 東京都内50か所の主要バス停シティスケープで広告掲出</li> <li>・ 広告戦略好調による需要増への対応強化</li> </ul>

7

## 直近の トピックス

# 直近のトピックス① (化学品事業)

(株)ニトリとの共同開発

## 抗菌防臭・抗ウイルス加工学習机

### 「くみあわせデスク WR23AV、WC23AV」を共同開発 (2月)

H  
健康衛生

- ・ 昨年3月に同社と共同開発の抗菌防臭・抗ウイルス加工 **ダイニングテーブルセット「アルナスDF」に次ぐ、コラボ第二弾**
- ・ 抗菌防臭・抗ウイルス加工剤「ニッカノンRB-40」を木製部分に塗布することで、**高い抗菌・抗ウイルス効果**を確認
- ・ ニトリと当社の技術の融合で、通常塗装と変わらない、**無垢集成材の風合いを感じることもできる仕上がり**を実現

→今後も様々な用途・素材への展開を目指していく



抗菌  
防臭

+

抗  
ウイルス  
加工

細菌の増殖を

**99%**以上低減 (約)

ウイルスが

**99%**以上減少 (約)

■注意

※1 未加工品と比べ、細菌の増殖を10000分の1以下に抑制。 ※2 未加工品と比べ、ウイルスの数が100分の1以下に減少。  
 ※抗菌防臭・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。また、抗菌防臭・抗ウイルス性は全ての細菌やウイルスの働きを抑制するものではありません。  
 ※抗菌防臭・抗ウイルス性は、使用環境や表面の状態（汚れ、摩耗）により低下することがあります。

## 直近のトピックス② (化粧品事業)

# 国立研究開発法人 理化学研究所と共同研究を行い、特定の植物オイルと植物エキスの組合せが毛髪成長促進効果を有することを発見

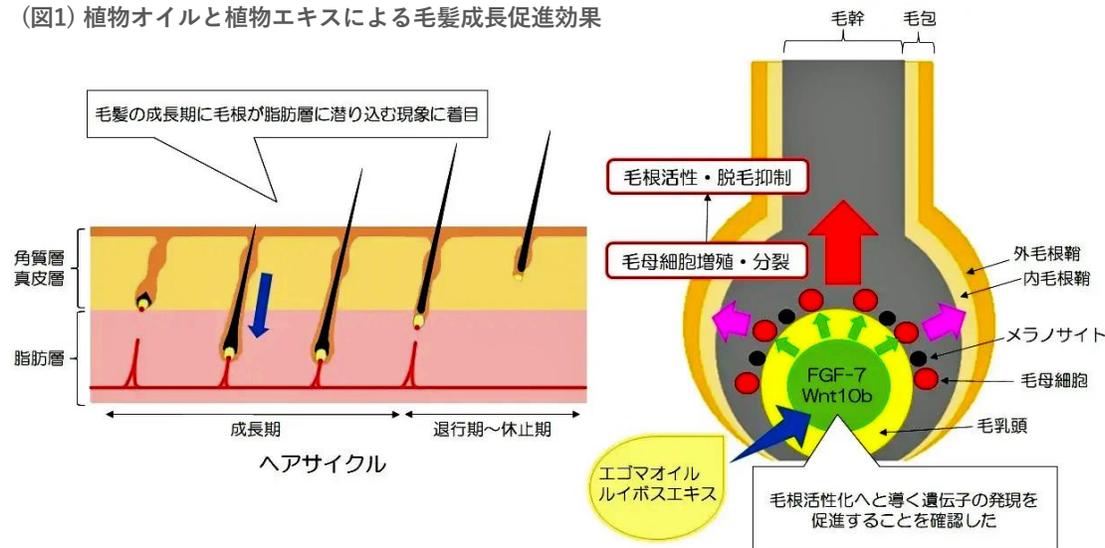
### ■ 本研究のポイント

- ・ 髪へのヘアサイクルの中で毛髪の成長期に毛根が脂肪層に潜り込む現象から、素材選定では油性成分に着目
- ・ エゴマオイル・ルイボスエキスの組み合わせが育毛関連遺伝子の発現を促進し毛根活性化の機能を高めることを発見
- ・ 日華化学と理化学研究所は共同で当オイル、当エキスの組合せの育毛効果において特許出願

### ■ 今後の展開

日華化学では、本研究にて確認された成果を活かし、これらの組合せ成分を配合した多くの髪の悩みを抱える人々に向けた育毛商品、スカルプケア商品の開発を目指す

(図1) 植物オイルと植物エキスによる毛髪成長促進効果



## 直近のトピックス③ (化粧品事業)

4月12日 全国取り扱いサロンにて新発売

# 「毎日・手軽に・確実に」を実現するスカルプケアブランド 「DEMI DO (デミドゥ)」

## ブランドコンセプト「一生この髪とあそぼう」の実現

スカルプケアは地肌や毛髪に悩みのある人だけが使うものといったネガティブなイメージを一新。  
カラフルなデザインと、手軽で簡単に毎日続けられるスカルプケアを幅広い年代の方に提案。

## 40年以上の専門研究の集大成！初めての「デミ」ブランド名

デミ コスメティクスの最新技術の自信、そしてスカルプケアの概念を変えたいという思いから、  
初の「デミ」を冠したブランド名



一生、  
この髪とあそぼう。  
SMART SCALP CARE

DEMI DO

## 直近のトピックス④ (化粧品事業)

# 当社化粧品事業としては、実質初めてと言っていい**直接広告を実施**

### CM

**川上未映子さん・畠山千明さん・豊田遥夏さん・雅姫さんを起用！  
スカルプケアブランド「DEMI DO (デミドゥ)」CMを全国でスタート！**

DEMI DOのワクワクする華やかなパッケージをイメージしたカラフルな世界をスタジオに再現し、川上未映子さん、雅姫さん、畠山千明さん、豊田遥夏さんという様々なフィールドで活躍する20～50代からなる4名の女性が登場。ガレージロックをベースとしたテーマソングに合わせ、見ているだけで心が躍るようなCM世界が広がります。DEMI DOを使用することで訪れる「地肌と髪のおどる未来」を体感できるムービーを、ぜひお楽しみください。

### 交通広告

## 全国5大都市での交通広告、東京都内50か所での主要バス停への広告掲出

4月13日（木）より渋谷駅、仙台駅、名古屋駅、大阪梅田駅、博多駅で大規模交通広告掲出

4月24日（月）より東京都内50か所の主要バス停シティスケープで 広告掲出



## 直近のトピックス⑤ (化粧品事業)

# デミ コスメティクスより基幹ヘアカラー「トイロクション」6月8日発売予定 予定通り発売に向けた順調な進捗

- ・ヘアカラーブランド「アソート アリア C」がブランド名も新たに進化、「トイロクション」としてフルリニューアル
- ・96色のラインナップでさらに表現の可能性を広げ、お客様の要望、髪質やダメージに寄り添いながら、**十人十色の理想の色を叶える**
- ・SDGs取り組みの一環として、**プラスチック量を約55%削減した新形状の小型キャップ**を採用
- ・デミ コスメティクス初となる**タレントを起用したプロモーション**を開始



現行キャップ

新形状小型キャップ

# DEMI



## お問い合わせ先

日華化学株式会社 IR担当  
TEL:(0776)25-8584(直通)  
Email : matsushima@niccachemical.com

この資料には、2023年4月28日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。  
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。